

平成29年度奈良県・大和高田市公立学校教員採用候補者選考試験

試験内容及び日程・場所等

【第1次試験】

1 筆記試験 教科専門、一般教養

2 面接 集団面接(個別)

3 日程及び場所

種別・校種	小学校 (小学校英語教育推進特別選考を含みます)	中学校 (音・英以外)	高等学校 (美)	養護教諭	栄養教諭	中学校 (音・英)	高等学校 (美以外)	特別支援	実習助手	社会人 特別選考	身障者 選考	中学校・高等学校英語教育推進特別選考	教職経験特別選考																										
場所	県立生駒高等学校	県立桜井高等学校			県立郡山高等学校						各校種の受験会場	各校種等教科等の受験会場																											
7月9日(土) 8:50集合 9:15試験開始	午前 教科専門	教科専門			教科専門				教科専門				教科専門																										
	一般教養	一般教養			一般教養				個人面接	一般教養	一般教養																												
場所	県立平城高等学校																																						
7月16日(土)	集団面接(個別)																																						
7月17日(日)														集団面接(個別)																									
7月18日(月)																											集団面接(個別)												
<指定された時刻>																																							
	集団面接(個別)																																						

※ 中学校・高等学校英語教育推進特別選考受験者及び実習助手受験者の7月9日(土)の集合時刻は教職員課ホームページにてお知らせしています。

※ 身体に障害がある人を対象とした選考受験者は、筆記試験後個人面接を実施します。

4 結果通知 平成28年8月3日(水)

【第2次試験】

1 試験日 平成28年8月13日(土) 小学校実技試験

平成28年8月14日(日) 中学校・高等学校実技試験

平成28年8月15日(月) 集団面接(討議)

平成28年8月17日(水)～21日(日) 個人面接(模擬授業等を含みます)

2 結果通知 平成28年9月16日(金)

平成29年度奈良県・大和高田市公立学校教員採用候補者選考試験出願状況(1)

1 出願状況

種別	平成29年度			平成28年度			増減 A-B
	出願者数 A	採用予定者 数(程度)	倍率	出願者数 B	採用予定者 数(程度)	倍率	
小学校	878	170	5.2	937	185	5.1	△ 59
中学校	812	108	7.5	931	100	9.3	△ 119
高等学校	634	51	12.4	638	53	12.0	△ 4
特別支援学校	153	38	4.0	162	38	4.3	△ 9
養護教諭	151	10	15.1	151	16	9.4	0
栄養教諭	56	6	9.3	66	6	11.0	△ 10
実習助手	18	3	6.0	28	2	14.0	△ 10
合計	2702	386	7.0	2913	400	7.3	△ 211

2 年齢別(平成29年4月1日現在の年齢)

年齢区分	男	女	合計	割合(%)
20～21歳	12	3	15	0.5
22～25歳	692	751	1443	53.4
26～30歳	250	436	686	25.4
31～35歳	109	190	299	11.1
36～40歳	45	77	122	4.5
41～44歳	45	31	76	2.8
45歳以上	40	21	61	2.3
合計	1193	1509	2702	100

平成29年度奈良県・大和高田市公立学校教員採用候補者選考試験 受検案内（概要）

(1) 選考試験日程

- ① 願書交付 平成28年5月11日（水）9：00～
- ② 願書受付
 - 郵送・インターネット 平成28年5月11日（水）～平成28年5月27日（金）〈消印有効〉
 - 提出先：奈良県教育委員会事務局教職員課
- ③ 第1次試験の期日・内容

			身体に障害がある人を対象とした選考						配点
			一般選考		小学校 英語教育推 進特別選考	中学校・ 高等学校 英語教育推 進特別選考	教職経験 特別選考	社会人を 対象とした 特別選考	
			小学校 中学校 高等学校 特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	実習助手					
第 1 次 試 験	7月 9日(土) 8:50集合 試験開始 9:15	午前	一般教養 〈マークシート〉	一般教養 〈マークシート〉	一般教養 〈マークシート〉	一般教養 〈マークシート〉		個人面接	90点
			教科専門		教科専門		教科専門	教科専門	200点
第 1 次 試 験	16日(土) ～18日(月) 指定された日時	全日	集団面接（個別）						100点

- 受験票送付予定の **6月10日(金) 11:00頃**に、教職員課ホームページで、試験会場（県立高等学校）及び各校種、教科の**集団面接日等**をお知らせする予定です。
- 各受験者の具体的な集団面接の日時は、**7月13日(水) 11:00頃**に教職員課ホームページでお知らせする予定です。
- 筆記試験は、**試験開始後20分**までに試験会場に入室しなかった場合は、**受験できません**。
- 面接は、**集合時刻**に入室しなかった場合は、**受験できません**。
- 7月9日(土)に試験を受けなかった人は、**集団面接を受けることはできません**。

④ 第1次試験の結果

- 8月3日（水）10時頃 奈良県庁正面掲示場に掲示、教職員課HPに掲載、本人宛に郵送

⑤ 第2次試験の期日・内容

		小学校	小学校英語 教育推進 特別選考	小学校 配点	中学校 高等学校 (実技無) 右記以外の教科	中学校・高等学校 (実技有) 中：音楽・美術・ 保健体育 高：音楽・美術・ 書道・保健体育	特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	小学校 以外配点	実習 助手	実習助手 配点
第 2 次 試 験	8月 13日(土)	実技試験 音楽・体育		50点						
	14日(日)					実技試験		100点		
	15日(月)	集団面接（討議）		100点	集団面接（討議）			100点	集団面接 （討議）	100点
	17日(水) ～ 21日(日) 指定された日時	個人面接 (模擬授業 を含む)	個人面接 (外国語活動 の模擬授業 を含む)	250点	個人面接 (模擬授業を含む)			200点	個人 面接	200点

- 第1次試験合格者は、**8月9日(火) までにアプリケーションソフト**（合格通知時に同封）を教職員課宛に**郵送**してください。
- **試験会場（県立高等学校）、実技試験の班編制及び個人面接の日時等、第2次試験に関わる内容は、**
8月9日(火) 11:00頃に教職員課ホームページでお知らせする予定です。
- 面接、実技試験は**集合時刻**に入室しなかった場合は、**受験できません**。

⑥ 第2次試験の結果

- 9月16日（金）10時頃 奈良県庁正面掲示場に掲示、教職員課HPに掲載、本人宛に郵送

(2) 募集する校種等、教科等及び採用予定者数

校種等	教科等	H29採用予定者数
小学校	※ 小学校英語教育推進特別選考も含む。	170人程度
中学校	国語16人程度、社会13人程度、数学16人程度、理科13人程度 音楽7人程度、美術6人程度、保健体育14人程度 技術・家庭計7人程度、外国語(英語)16人程度	108人程度
高等学校	国語10人程度、地理歴史5人程度、数学8人程度 理科(物理、化学、生物)計5人程度、音楽1人程度 美術2人程度、書道1人程度、保健体育5人程度 外国語(英語)9人程度、家庭(調理)1人程度、農業1人程度 工業(電気・情報)1人程度、商業2人程度 ※ 国語、商業は、大和高田市立高田商業高等学校の各々1人程度を含む。	51人程度
特別支援		38人程度
養護教諭		10人程度
栄養教諭		6人程度
実習助手	工業科、工業科以外	3人程度

(3) 主な変更点

- ① 採用人数の推移 総数384人程度(-15)
 小学校 170人程度(-15) 中学校 108人程度(+8)
 県立高等学校 49人程度(-4) ※ 大和高田市立高田商業高等学校 国語・商業各々1人程度は別枠
 特別支援学校 38人程度(±0) 養護教諭 10人程度(-5) 栄養教諭 6人程度(±0)
 実習助手 3人程度(+1)
- ② 集団面接(個別)を第1次試験で、集団面接(討議)を第2次試験で実施する。
- ③ 小学校英語教育推進特別選考に加えて、中学校・高等学校英語教育推進特別選考を実施する。
- ④ 教職経験特別選考の受験資格で、受験する校種等に限らず、全ての校種等(こども園・幼稚園・保育所を除く)の勤務月数を通算可能とする。
- ⑤ 加点内容及び点数を変更する。

	対象者	加点内容	加点得点	提出物
①a	小学校英語教育推進特別選考	小学校及び中学校(英語)教諭普通免許状を共に所有する人 ※ 中学校教諭普通免許状で英語以外の教科等の免許状を共に所有する人は6点(①bで申請)	10点	願書の加点申請欄に記入した免許状等のコピー 小学校教諭普通免許状 中学校教諭普通免許状 高等学校教諭普通免許状 司書教諭講習修了証書
①b	小学校 小学校英語教育推進特別選考	小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有する人	6点	
②	中学校	小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有する人 又は「音楽」「美術」「技術」「家庭」を含む中学校教諭普通免許状を複数所有する人	6点	
③	中学校	司書教諭の資格を所有する人	6点	
④	高等学校	受験する高等学校教諭普通免許状と「情報」の高等学校教諭普通免許状を共に所有する人	6点	実施団体が発行する資格証明書のコピー
⑤a	小学校英語教育推進特別選考	実用英語技能検定(日本試験院)準1級以上合格、TOEFL(国際教育交流協会)PBT550点以上若しくは同CBT213点以上、 同IBT80点以上、TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)730点以上取得のうち、いずれかに該当する人	10点	
⑤b	小学校 中学校英語 高等学校英語		6点	
⑥	全校種	臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士のいずれかの資格を所有する人	6点	資格証明書のコピー

※ 第1次試験に限り加点する。また、①～④に限り、平成29年3月31日までに取得見込みの人を含む。

平成29年度奈良県・大和高田市 公立学校教員採用候補者選考試験受験案内

奈良県教育委員会
大和高田市教育委員会

【受付期間】（郵送・インターネット）

平成28年5月11日（水）～27日（金）（消印有効）

【第1次試験】

平成28年7月9日（土）（筆記試験）

7月16日（土）～18日（月） いずれかの指定された1日（集団面接（個別））

【第2次試験】

平成28年8月13日（土）・14日（日） いずれかの指定された1日（実技試験）

8月15日（月）（集団面接（討議））

8月17日（水）～21日（日） いずれかの指定された1日（個人面接）

今年度の教員採用試験の特徴（主な変更点）

- ・集団面接（個別）を第1次試験で、集団面接（討議）を第2次試験で実施します。
- ・教職経験特別選考の受験資格で、受験する校種等に問わず、全ての校種等（こども園・幼稚園・保育所を除きます）の勤務月数を通算します（詳細はP2参照）。
- ・小学校英語教育推進特別選考に加えて、中学校・高等学校英語教育推進特別選考を実施します。
- ・「教職経験特別選考」と「小学校英語教育推進特別選考」が併願受験できるなど、各選考で併願受験が可能となりました（組み合わせは、P2～P4の各選考の記載内容で確認してください）。
- ・加点内容及び点数を見直しました（詳細はP8参照）。
- ・実習助手の第1次試験は、一般教養に加えて集団面接（個別）を実施します。

〔1〕募集する校種等、教科等及び採用予定者数

校種等	教科等	H29採用予定者数
小学校	※ 小学校英語教育推進特別選考も含む。	170人程度
中学校	国語16人程度、社会13人程度、数学16人程度、理科13人程度 音楽7人程度、美術6人程度、保健体育14人程度 技術・家庭計7人程度、外国語（英語）16人程度	108人程度
高等学校	国語10人程度、地理歴史5人程度、数学8人程度 理科（物理、化学、生物）計5人程度、音楽1人程度 美術2人程度、書道1人程度、保健体育5人程度 外国語（英語）9人程度、家庭（調理）1人程度、農業1人程度 工業（電気・情報）1人程度、商業2人程度 ※ 国語、商業は、大和高田市立高田商業高等学校の各々1人程度を含む。	51人程度
特別支援		38人程度
養護教諭		10人程度
栄養教諭		6人程度
実習助手	工業科、工業科以外	3人程度

〔2〕受験資格

次の各号に掲げる要件に該当する人であること

- (1) ・昭和52年4月2日以降に生まれた人
 ・昭和41年4月2日以降、昭和52年4月1日までに生まれた人で平成28年3月31日現在において過去に3年(36月)以上教諭として勤務したことのある人(国立又は県外公立、私立学校で教諭経験を有する人は、出願時に在職証明書(在職期間が明記されているもの、様式自由)を提出する必要があります)
 ・昭和32年4月2日以降に生まれた奈良県公立学校栄養職員(任期の定めのない人に限る)で、平成28年3月31日現在において過去に3年(36月)以上勤務実績を有する人
 ※ 教諭経験月数には、臨時的任用又は任期付採用の本県公立学校常勤講師(市町村費常勤講師を含む)の経験月数を、栄養教諭にあっては本県公立学校栄養職員の経験月数を、実習助手にあっては臨時的任用又は任期付採用の本県公立学校常勤講師、実習助手、寄宿舎指導員の経験月数をそれぞれ含みます(いずれも非常勤職員の期間を除く)。
 なお、教育公務員特例法施行令第3条3項に該当する場合は勤務年数から除きます。
- (2) 受験する校種等で以下の免許状を所有する人(平成29年3月31日までに取得見込みの人を含む)で、所有する免許状の有効な状態を平成29年4月1日現在で保持できる人

校種等	所有する教育職員免許状及び資格
小学校	小学校教諭の普通免許状所有者
中学校	受験教科の中学校教諭の普通免許状所有者
高等学校	受験教科の高等学校教諭の普通免許状所有者 家庭(調理)については、「家庭」の免許状及び調理師免許所有者
特別支援学校	特別支援学校教諭の普通免許状所有者
養護教諭	養護教諭の普通免許状所有者
栄養教諭	栄養教諭の普通免許状所有者
実習助手	教諭普通免許状の有無は問わないが、工業科の実習助手を志望する場合は、旋盤、溶接、鋳造等の実務経験又は技術を有することが望ましい。また、工業科以外の実習助手を志望する場合は、特別支援教育、医療、福祉関係又は農業教育の専門性を有することが望ましい。

- (3) 学校教育法第9条各号及び地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人
- (4) 県内どこにでも勤務できる人

〔3〕選考種別

《1》一般選考

- 1 募集する校種等、教科等
P1〔1〕募集する校種等、教科等及び採用予定者数を参照
- 2 受験資格 P2〔2〕受験資格(1)～(4)の全てに該当する人
- 3 出願手続 P4〔4〕出願手続についてを参照
- 4 選考方法 P5〔5〕P7〔6〕を参照
- 5 併願受験について
「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。

《2》教職経験特別選考

- 1 募集する校種等、教科等
P1〔1〕募集する校種等、教科等及び採用予定者数を参照(実習助手を除く)
- 2 受験資格
次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること
 (1) 昭和41年4月2日以降に生まれた人又は昭和32年4月2日以降に生まれた本県公立学校栄養職員(任期の定めのない人に限る)
 (2) P2〔2〕受験資格(2)(3)(4)の全てに該当する人
 (3) 現に国立及び公立(奈良県以外)の学校教諭、私立学校の正規の現職教員として平成28年3

月31日現在において3年以上勤務している人、若しくは奈良県内の公立学校において、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間で通算3年(36月)以上常勤講師の経験がある人

- ※ 1月に満たない場合は、それぞれの日数を通算し、30日を1月とみなします。ただし、通算後の残り日数が15日以上の場合も1月とみなします。また、栄養教諭にあっては、本県公立学校栄養職員の経験月数を含みます。
- ※ 教育公務員特例法施行令第3条3項に該当する場合は勤務年数から除く。
- 3 出願手続 P4〔4〕出願手続についてを参照
ただし、国立及び公立(奈良県以外)学校教諭、私立学校の正規の現職教員は、出願時に在職証明書(在職期間が明記されているもの、様式は自由)を提出してください。
- 4 選考方法 P5〔5〕P7〔6〕を参照
第1次試験では一般教養試験を免除し、教科専門及び集団面接における合格最低点(一般選考同校種等・教科等受験者)以上の人を合格とします(第2次試験は、ほかの受験者と同じ選考を行います)。
- 5 併願受験について
「小学校英語教育推進特別選考」又は「中学校・高等学校英語教育推進特別選考」と「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。

《3》身体に障害がある人を対象とした選考

- 1 募集する校種等、教科等
P1〔1〕募集する校種等、教科等及び採用予定者数を参照
- 2 受験資格
次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること
 (1) P2〔2〕受験資格(1)～(4)の全てに該当する人
 (2) 自力通勤ができ、かつ、介護者なしで職務遂行が可能な人
 (3) 身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級から6級までの人
- 3 出願手続 P4〔4〕出願手続についてを参照
- 4 選考方法 P5〔5〕P7〔6〕を参照
第1次試験の筆記試験後に、個人面接を実施します。
- 5 併願受験について
「一般選考」又は「教職経験特別選考」、「社会人を対象とした特別選考」のいずれかと併願受験することができます。また、「教職経験特別選考」を選択した場合は、「小学校英語教育推進特別選考」、「中学校・高等学校英語教育推進特別選考」のいずれかと併願受験することができます。

《4》社会人を対象とした特別選考

- 1 募集する校種等、教科等
- | 校種等 | 教科等 |
|------|--|
| 高等学校 | 数学、理科(物理、化学、生物)、家庭(調理)、農業、工業(電気・情報)、商業 |
- 2 受験資格
次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること
 (1) 学校教育法第9条各号及び地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人
 (2) 数学、理科(物理、化学、生物)を受験する人は、昭和52年4月2日以降に生まれた人で、大学を卒業又は大学院を修了しており、研究施設、民間企業(教育事業を除く)、官公庁等(公立学校を除く)に、現に正規職員として3年以上の勤務経験を有する人
 家庭(調理)を受験する人は、昭和47年4月2日以降に生まれた人で、調理師免許取得後、事業所等(調理師養成施設を含む)において5年以上の実務経験を有する人
 農業、工業(電気・情報)、商業を受験する人は、昭和47年4月2日以降に生まれた人で、受験する教科に関わる3年以上の実務経験を有する人
 ※ 勤務・実務経験は、平成29年3月31日までの常勤のものとしします。
 (3) 受験する校種、教科の教諭普通免許状の有無は問いません。ただし、相当の教諭普通免許状を所有しない場合は、次の条件①及び②に該当する必要があります。
 ① 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する人
 ② 教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている人
 なお、この場合、合格後に特別免許状申請の手続きが必要となります。
 - 3 出願手続 P4〔4〕出願手続についてを参照
ただし、出願時に2000字以内の自己推薦文を提出してください。(A4判、様式自由)
 - 4 選考方法 P5〔5〕P7〔6〕を参照
第1次試験における一般教養に替えて、個人面接を実施します。
 - 5 併願受験について
「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。
 - 6 その他
第2次試験に合格した場合は、在職・勤務証明書等を提出してください。(A4判、様式自由)

《5》 小学校英語教育推進特別選考

- 募集する校種等、教科等
小学校（ただし、小学校英語専科担当の募集ではありません）
- 受験資格
次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること
(1) P2〔2〕**受験資格**(1)～(4)の全てに該当する人
(2) 小学校教諭の普通免許状以外に、英語の中学校又は高等学校教諭普通免許状所有（平成29年3月31日までの取得見込みを含む）、若しくは P8〔9〕**加点申請**の⑤aに該当する人
- 出願手続 P4〔4〕**出願手続**についてを参照
- 選考方法 P5〔5〕P7〔6〕を参照
第2次試験の内容は一般選考（小学校）と同じ実技試験、集団面接（討議）のほか、外国語活動の模擬授業を含む個人面接を行います。
- 併願受験について
「教職経験特別選考」及び「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。
- 加点について
加点が10点になります（一般選考の小学校受験者は6点、詳細はP8〔9〕参照）。

《6》 中学校・高等学校英語教育推進特別選考

- 募集する校種等、教科等
中学校外国語（英語）及び高等学校外国語（英語）
- 受験資格
次の各号に掲げる要件の全てに該当する人であること
(1) P2〔2〕**受験資格**(1)～(4)の全てに該当する人
(2) 出願時点で、**実用英語技能検定**（日本英語検定協会）1級合格、**TOEFL**（国際教育交換協議会）**PBT600点**以上若しくは同**CBT250点**以上、同**iBT100点**以上、**TOEIC**（国際ビジネスコミュニケーション協会）**860点**以上取得のうち、いずれかに該当する人
- 出願手続 P4〔4〕**出願手続**についてを参照
- 選考方法 P5〔5〕P7〔6〕を参照
第1次試験では**教科専門試験を免除**し、一般教養及び集団面接における合格最低点（一般選考同校種等・教科等受験者）以上の人を合格とします（第2次試験は、ほかの受験者と同じ選考を行います）。
- 併願受験について
「教職経験特別選考」及び「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。

《7》 大学院・教職大学院特別選考

- 募集する校種等、教科等
小学校
- 受験資格
平成27年度又は平成28年度奈良県教員採用候補者選考試験合格者で、大学院・教職大学院特別選考受験承認書を受理している人のみ
- 出願手続 P4〔4〕**出願手続**についてを参照
※ 出願時に大学院・教職大学院特別選考受験承認書を提出してください。
- 選考方法
第1次試験を免除し、第2次試験で、**集団面接（討議）及び個人面接（模擬授業を含む）**を行います。再度判定します。
- 併願受験について
大学院・教職大学院特別選考は、ほかの選考との併願ができません。

【4】 出願手続について

郵送により出願する場合		インターネットで出願する場合	
受付期間	平成28年5月11日(水)～平成28年5月27日(金)	受付期間	平成28年5月11日(水)～平成28年5月27日(金)
出願書類	(1) 教員採用候補者選考試験願書等（A票・B票・C票・D票） A票・B票は、必ず両面印刷をして提出してください。 C票・D票には、写真を必ず貼付してください。	出願方法	奈良県ホームページ http://www.pref.nara.jp/ から「電子自治体」の「 e古都なら 」（電子申請）を選択後、申請・届出を選択してください。 (注1) 最初に、「e古都なら」メニュー中の「ご

	(2) <u>受験票返信用封筒1通（長3：12.0cm×23.5cmの定形のり付封筒に242円切手（特定記録として郵送のため）を貼付し、宛先を記入したもの）</u>	利用方法」を必ず読んでください。 (注2) <u>利用者IDとパスワード</u> （利用者登録をされた方のみ）及び <u>整理番号とパスワード</u> は、 <u>受験票等をプリントアウトするときに必要になりますので、必ず控えをとっておいてください。</u> (注3) 申請の最後に表示される「申請完了」画面（整理番号とパスワードが表示される画面）で、「 <u>一覧へ戻る</u> 」をクリックすると 申請完了 となります。
郵送方法及び出願先	必ず 書留郵便 とし、 5月27日(金)までの消印のあるもの に限り受け付けます。封筒の表面に「 出願書類 在中」と 朱書き してください。 (郵送先) 〒630-8502 奈良県教育委員会事務局教職員課（住所不要） ※ 直接持参しても受付をしません。	
受験票送付	6月10日(金) に、受験票を送付します。	受験票送信 6月10日(金) にメール送信される受験番号が入力された C票（受験票）・D票（写真票）をプリントアウトし、D票に写真を貼付して6月24日(金)まで に教職員課宛に 書留郵便 で郵送してください。また、 C票にも写真を貼付し、第1次試験当日に持参 してください。

- ※ 提出書類に不備がある場合は受け付けない場合があります。また、提出書類は返却しません。
※ 郵送により出願し、6月17日(金)までに受験票が到着しない場合は、問い合わせ先（P10参照）に連絡し確認してください。

【5】 試験日程及び内容等

1◆◆◆ 第1次試験受験当日の持参物 ◆◆◆

- 受験票
- 結果通知用封筒1通（長3：12.0cm×23.5cmの定形のり付封筒に**92円切手**を貼り、**宛先**を記入、封筒表面右下に**受験番号**を記入したもの）
- 加点申請をした人は、申請に必要な書類のコピー（それぞれの書類の右下に受験番号を記入）
- 筆記用具（鉛筆、シャーペン等）、消しゴム、上履き、靴入れ

2◆◆◆ 受験者への注意事項 ◆◆◆

- 試験場への自動車等の乗り入れ及び周辺道路上、コンビニ等周辺施設への駐車は**厳禁**です。
- 身体に障害があり、試験会場への自動車等の乗り入れや、受験会場において配慮等を必要とする場合は、願書（B票）3「受験上の配慮事項」に記入してください。
- 試験会場への電話等での問い合わせは、緊急の場合以外は行わないでください。
- 不正行為があった場合は、受験することができません。
- 暑さ対策のため、**上着・ネクタイの着用は特に必要ありません。**
- 今後のお知らせは、奈良県教育委員会事務局教職員課ホームページに掲載しますので注意深く確認してください。 ホームページアドレス (<http://www.pref.nara.jp/1695.htm>)

3◆◆◆ 第1次試験について ◆◆◆

(1) 試験日程について

第1次試験	7月9日(土) 8:50集合 試験開始 9:15	午前	身体に障害がある人を対象とした選考					配点	
			一般選考		小学校 英語教育推進特別選考	中学校・ 高等学校 英語教育推進特別選考	教職経験 特別選考		社会人を 対象とした 特別選考
			小学校 中学校 高等学校 特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	実習助手					
			一般教養 <マークシート>	一般教養 <マークシート>	一般教養 <マークシート>	一般教養 <マークシート>	個人面接	90点	
			教科専門		教科専門		教科専門	教科専門	200点
	16日(土) ～18日(月) 試験終了時	全日	集団面接（個別）					100点	

- 受験票送付予定の **6月10日(金)11:00頃**に、教職員課ホームページで、試験会場（県立高等学校）及び各校種等、教科等の**集団面接日等**をお知らせする予定です。
- **各受験者**の具体的な集団面接の日は、**7月13日(水)11:00頃**に教職員課ホームページでお知らせする予定です。
- 筆記試験は、**試験開始後20分**までに試験会場に入室しなかった場合は、**受験できません**。
- 面接は、**集合時刻**に入室しなかった場合は、**受験できません**。
- 7月9日(土)に試験を受けなかった人は、**集団面接を受けることはできません**。

(2) 試験内容について

試験内容	実施方法	出題内容等
一般教養	マークシート	教職教養と時事問題を出題し、マークシートで解答します。
教科専門	筆記	高等学校地理歴史及び理科は、全ての領域の内容を出題範囲とする共通問題（全員解答）と選択問題（2領域を選択し、それぞれ解答）を出題します。 ※ 選択問題… 地理歴史は世界史、日本史、地理から2領域を選択。 理科は出願時に選択した領域を含め、物理、化学、生物から2領域を選択。
集団面接（個別）	全校種	中学校及び高等学校外国語（英語）受験者は、 英語による質問 があります。

4 ◆◆◆ 第2次試験について ◆◆◆

(1) 試験日程について

次 試 験	日	校種	試験科目	配点	中学校・高等学校 (実技有) 中：音楽・美術・ 保健体育 高：音楽・美術・ 書道・保健体育	特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	小学校 以外配点	実習 助手	実習助手 配点
第 2 次 試 験	8月13日(土)	小学校	実技試験 音楽・体育	50点					
	14日(日)	中学校・高等学校	実技試験				100点		
	15日(月)	小学校以外	集団面接（討議）	100点	集団面接（討議）		100点	集団面接 （討議）	100点
	17日(水) ～ 21日(日) 試験された日	小学校以外	個人面接 （模擬授業を含む）	250点	個人面接 （模擬授業を含む）		200点	個人 面接	200点

- 第1次試験合格者は、**8月9日(火)までにプレ・シミュレーションシート**（合格通知時に同封）を教職員課宛に郵送してください。
- **試験会場（県立高等学校）、実技試験の班編制及び個人面接の日時等、第2次試験に関する内容は、8月9日(火)11:00頃**に教職員課ホームページでお知らせする予定です。
- 面接、実技試験は**集合時刻**に入室しなかった場合は、**受験できません**。

(2) 実技試験について

校種	教科	課題及び持参物等
小学校	音楽	〈歌唱〉下記の①～③のうち、当日指示する曲を無伴奏で歌唱します。※ 楽譜は試験場に用意しています。 ① 「夕やけこやけ」 中村雨紅 作詞/草川 信 作曲 ② 「さくらさくら」 (日本古謡) ③ 「茶つみ」 (文部省唱歌) 〈器楽演奏〉ピアノ、ソプラノリコーダー、鍵盤ハーモニカの中から各自選択し、任意の曲を演奏します。 ※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。※ ピアノ以外の楽器は各自持参してください。
	体育	器械運動（マット運動）、水泳（クロール）、ボール運動（ゴール型）及び走・跳の運動（小型ハードル走等） ※ 運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。 ※ 荒天により水泳ができない場合は、体づくり運動（多様な動きをつくる運動）を実施します。

校種	教科	試験内容				
中学校 高等学校	音楽	〈ピアノによる弾き歌い〉 下記の①～③のうち、当日指示する曲にピアノ伴奏を付けて主旋律を歌唱します。 ※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。※ 調及び使用する伴奏譜については、特に指定しません。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>中学校</td> <td>① 「花の街」 江間章子 作詞/團伊玖磨 作曲 ② 「早春賦」 吉丸一昌 作詞/中田 章 作曲 ③ 「花」 武島羽衣 作詞/滝廉太郎 作曲</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>① 「この道」 北原白秋 作詞/山田耕筰 作曲 ② 「椰子の実」 島崎藤村 作詞/大中寅二 作曲 ③ 「荒城の月」 土井晩翠 作詞/滝廉太郎 作曲</td> </tr> </table>	中学校	① 「花の街」 江間章子 作詞/團伊玖磨 作曲 ② 「早春賦」 吉丸一昌 作詞/中田 章 作曲 ③ 「花」 武島羽衣 作詞/滝廉太郎 作曲	高等学校	① 「この道」 北原白秋 作詞/山田耕筰 作曲 ② 「椰子の実」 島崎藤村 作詞/大中寅二 作曲 ③ 「荒城の月」 土井晩翠 作詞/滝廉太郎 作曲
	中学校	① 「花の街」 江間章子 作詞/團伊玖磨 作曲 ② 「早春賦」 吉丸一昌 作詞/中田 章 作曲 ③ 「花」 武島羽衣 作詞/滝廉太郎 作曲				
高等学校	① 「この道」 北原白秋 作詞/山田耕筰 作曲 ② 「椰子の実」 島崎藤村 作詞/大中寅二 作曲 ③ 「荒城の月」 土井晩翠 作詞/滝廉太郎 作曲					
	美術	〈水彩による表現〉水彩画に使用する用具、画板を持参してください。画架の持参は自由です。				
高等学校	書道	書道用具を持参してください。				
中学校 高等学校	保健体育	武道（柔道又は剣道を選択）、水泳（クロールと平泳ぎと背泳ぎ）、球技（ネット型：バレーボール）、ダンス（現代的なリズムのダンス）、器械運動（マット運動）、陸上競技（ハードル走） ※ 運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。 ※ 荒天により水泳ができない場合は、球技（ゴール型：バスケットボール）を実施します。				

〔6〕 選考方法及び結果発表について

- 第1次試験の選考方法**
小学校…… 一般教養（90点満点）、教科専門（200点満点）（国語・社会・数学・理科（各45点満点）英語（リスニングを含む）（20点満点））、集団面接（個別）（100点満点）、加点の合計により判定します。
小学校以外… 一般教養（90点満点）、教科専門（200点満点）、集団面接（個別）（100点満点）、加点の合計により判定します。
なお、教職経験特別選考、中学校・高等学校英語教育推進特別選考、社会人を対象とした特別選考、実習助手については、別途判定します。
- 第2次試験の選考方法**
次のそれぞれの合計得点により判定します。
小学校…… 実技試験（50点満点）、集団面接（討議）（100点満点）、個人面接（250点満点）
小学校以外
中高実技有…… 実技試験（100点満点）、集団面接（討議）（100点満点）、個人面接（200点満点）
中高実技以外… 集団面接（討議）（100点満点）、個人面接（200点満点）
- 上記各試験には、それぞれ合格基準があり、基準に達しない場合は不合格となります。したがって、合計得点及び順位が上位であっても不合格となる場合があります。
- 第1次試験の結果は8月3日(水)、第2次試験の結果は9月16日(金)、どちらも10:00頃**に、奈良県庁正面掲示場に掲示するとともに、**11:00頃**に教職員課ホームページに掲載し、また、それぞれ本人宛にも通知します。ただし、電話での問い合わせには応じることはできません。

〔7〕 名簿登載及び採用についての注意事項

- 合格者は、奈良県・大和高田市（大和高田市を志望して合格した場合）公立学校教員採用候補者名簿に登載され、原則として**平成29年4月1日に採用**されます。
- 平成29年3月31日までに該当する受験校種等、教科等の普通免許状を取得できない場合、学校教育法第9条各号及び地方公務員法第16条各号のいずれかに該当した場合など、P2【2】**受験資格**に該当しない場合は、採用内定が取り消されます。
また、**願書の記載事項に虚偽があった場合は、受験を認めないことや、採用内定を取り消すことがあります。**
- 小学校を受験して合格した人で、専修免許状取得のために大学院又は教職大学院に進学・進級する場合は、**辞退職（様式は自由）**と次回（合格した翌年から最大2年以内）受験時のための、**大学院・教職大学院特別選考受験の申請書（様式は後日、教職員課のホームページに掲載）**を提出してください。次回受験時は第1次試験を免除し、第2次試験の集団面接（討議）及び個人面接（模擬授業等を含む）を

受験していただきます。

※ 大学院・教職大学院特別選考合格後に**専修免許状**が取得できない場合は、採用を取り消すこととなりますのでご注意ください。

4 日本国籍を有しない人を採用する場合は、任用の期限を付さない常勤講師とします。

〔8〕その他

- 出願後の選考種別、受験校種等、教科等の変更は認めません。
- 合格通知後であっても、第1次試験及び第2次試験で不正が発覚した場合、合格を取り消します。また、二重に出願（郵送とインターネットでの出願等）するなどの不正があった場合は、採用試験を受けることができなくなる場合があります。
- 願書送付後、採用試験を辞退する場合は、必ず教職員課長宛に**辞退届（様式は自由）**を提出してください。
- 合格発表の日から1月間（ただし、第1次試験合格者は、第2次試験の合格発表の日から1月間）、試験の結果（総合得点・順位及び各試験の得点）について、奈良県・大和高田市個人情報保護条例に基づき、口頭による開示を請求することができます。開示を請求する場合は、受験者本人が、本人であることを証明できるものを持参し、午前9時から午後5時までの間に、奈良県教育委員会事務局教職員課に直接お越しください。
- 出願後、教職員課（0742-27-9844）より連絡を入れる場合があります。特に、携帯電話は連絡が受けられるように設定してください。

〔9〕加点申請

1 次の①～⑥に該当する人については、「**加点申請**」することにより**第1次試験に限り加点**します。

第2次試験と加点は無関係です。

※ ①～④に限り平成29年3月31日までに取得見込みの人を含みます。

※（小学校英語教育推進特別選考受験者のみ）①はa、bのいずれかを申請することができます。

対象者	加点内容	加点得点	提出物
①a 小学校英語教育推進特別選考	小学校及び中学校（英語）教諭普通免許状を共に所有する人 ※ 中学校教諭普通免許状で英語以外の教科等の免許状を共に所有する人は6点（①bで申請）	10点	願書の加点申請欄に記入した免許状等のコピー
①b 小学校 小学校英語教育推進特別選考	小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有する人	6点	
② 中学校	小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有する人 又は「音楽」「美術」「技術」「家庭」を含む中学校教諭普通免許状を複数所有する人	6点	
③ 中学校	司書教諭の資格を所有する人	6点	
④ 高等学校	受験する高等学校教諭普通免許状と「情報」の高等学校教諭普通免許状を共に所有する人	6点	
⑤a 小学校英語教育推進特別選考	実用英語技能検定（日本英語検定協会）準1級以上合格、TOEFL（国際教育試験協会）PBT550点以上若しくは同CBT213点以上、 同iBT80点以上、TOEIC（国際ビジネスコミュニケーション協会）730点以上取得のうち、いずれかに該当する人	10点	
⑤b 小学校 中学校英語 高等学校英語		6点	
⑥ 全校種	臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士のいずれかの資格を所有する人	6点	資格証明書のコピー

2 申請する場合は、願書A票の「**加点申請**」に必要事項を記入してください。

3 加点申請する人は、上記の**提出物を7月9日（土）に試験会場に持参**してください。

4 ①～④の取得見込みで採用試験に合格した人は、取得後に必ず免許状等のコピーを奈良県教育委員会事務局教職員課まで持参してください。

提出しない場合又は取得見込みで受験し、平成29年3月31日までに取得できなかった場合、加点が無効となり、採用内定を取り消す場合があります。

〔10〕願書・受験票・写真票の記入上の注意

下記の文章をよく読んで、**黒色ボールペン**を使用し、誤りがないように記入してください。

※印欄は記入しないでください。

【願書(A票)】【受験票(C票)】【写真票(D票)】

平成29年度奈良県・大和高田市公立学校
教員採用候補者選考試験願書 **A票**

受験する校種等、教科等を記入してください。

選考種別
1 一般選考
2 教職経験特別選考
3 身体に障害がある人を対象とした選考
4 社会人を対象とした特別選考
5 小学校英語教育推進特別選考
6 中学校・高等学校英語教育推進特別選考
7 大学院・教職大学院特別選考

受験校種等、教科等
奈良県立学校 大和高田市立

性別 生年月日 年齢

最終学校 大学 学部 科 卒業・卒業見込み 学位・修了程度

学生 現住所 電話

連絡先 種類 電話番号

教員免許状
種別 教科等 取得○・見込み△

資格 司書教諭

高校国語、商業で受験する人は、**県立学校と大和高田市立学校を併願受験**することができますので、**志望順位（1、2）の数字**を記入してください。

受験者と**確実に連絡がとれる住所**、携帯電話番号（固定電話番号）を記入してください。

該当する番号に○をつけ、4 その他 の場合のみ（ ）に詳細を記入してください。

加点を申請する場合は、**受験案内P8〔9〕**を参照のうえ、**該当する申請欄に必ず○**を記入してください。**記入漏れの場合は加点の対象となりませんのでご注意ください。**

【**加点申請**】

加点を申請する場合は、下の加点項目①～⑥に該当する申請欄に○を記入し、①～⑥の取得見込みの場合は○印を、取得見込みの場合は△を（ ）に記入し、必要事項を記入してください。なお、⑤、⑥においては出願時に取得済みのみを記入します。

申請欄	対象者	加点項目
①a	小英特別	小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状【英語】
①b	小英・英語	小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状【英語】
②	中学校	中学校教諭普通免許状【英語】
③	中学校	司書教諭の資格
④	高等学校	高等学校教諭普通免許状【英語】
⑤a	小英特別	英検準1級以上、TOEFL PBT 550点以上、CBT 213点以上、 iBT 80点以上、TOEIC 730点以上 【資格】
⑤b	小英・英語	
⑥	全校種	臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士いずれかの資格

- 高等学校入学からの履歴を記入してください。
- 過去に教諭・講師歴のある場合は、必ず記入してください。その際、**教諭、本県公立学校栄養職員、講師（県費定数内講師、県費補充講師、県費非常勤講師、市町村費講師、私立講師等）の職名**を記入してください。
- 賞罰も必ず記入**してください。

B票

氏名

1 履歴書
高等学校入学からの履歴を記入してください。

日 月 年 日 月 年 日 月 年 日

（学歴）

（職歴）

（賞罰）

（現任校）

通信教育等
取得年月日

奈良県内常勤講師経験月数
（任期の定めのない人）

奈良県内非常勤講師経験月数
（任期の定めのない人）

身体障害者手帳
交付機関 交付年月日 年 月 日
交付番号 障 害 名 級

通信教育等で免許を取得された場合は、B票履歴事項「通信教育等での免許取得」欄に取得年月日と大学等を記入してください。

教諭（任期の定めのない奈良県公立学校栄養職員を含む）として勤務経験を有する場合は、記入してください。

（身体に障害がある人を対象とした選考を希望する場合のみ）
受験に際して希望する事項があれば記入してください。

併願受験については、**受験案内P2～P4で確認**のうえ、
1 一般選考
2 教職経験特別選考
3 身体に障害がある人を対象とした選考
4 社会人を対象とした特別選考
5 小学校英語教育推進特別選考
6 中学校・高等学校英語教育推進特別選考
7 大学院・教職大学院特別選考
の番号を○で囲んでください。

平成29年4月1日現在の年齢を記入してください。

最終学校となる大学等の名称を記入してください。ただし、大学卒業後、教員免許状を取得するための**通信課程は、最終学校にはなりませんので記入**しないでください。

下記の例に従って記入してください。平成元年3月31日までに免許状を取得している人は「級」を「種」に読み替えて記入してください。（高等学校教諭の普通免許状についてのみ、2級→1種、1級→専修に変わります。そのほかの校種は、2級→2種、1級→1種と読み替えてください。）

（例）
小学校教諭1種免許状 → 小1種
高等学校教諭専修免許状 → 高専修
中学校教諭2種免許状 → 中2種
養護学校教諭1種免許状 → 養教1種
養護学校教諭2種免許状 → 養教2種
盲学校教諭1種免許状 → 盲1種
特別支援学校教諭1種免許状 → 特支1種

奈良県公立学校臨時栄養職員及び常勤講師（臨時実習助手、臨時寄宿舍指導員を含む）として勤務経験を有する場合のみ、**経験月数と職員番号**を記入してください。

経験月数には、**平成28年3月31日現在の経験月数**を記入してください。
※ 奈良県外での講師経験は含みません。
※ 1月に満たない場合は、それぞれの日数を通算し、30日を1月とみなします。ただし、通算後の残り日数が15日以上の場合も1月とみなします。

※ **C票・D票は上記A票注意事項を参照**

〔11〕 提出物チェックシート

- 下のチェックシートで提出物に不備がないか十分に確認してください。
- 提出書類に不備がある場合は受け付けない場合があります。また、提出書類は返却しません。
- 郵送により出願し、6月17日(金)までに受験票が到着しない場合は、下記の問い合わせ先に連絡し確認してください。

● 5月27日まで 〈出願時〉

チェック欄

1	郵送による出願者	【願書(A票)(B票)】(ダウンロードの場合は必ず両面印刷)	<input type="checkbox"/>
2	郵送による出願者	【受験票(C票)】【写真票(D票)】の写真貼付	<input type="checkbox"/>
3	郵送による出願者	受験票返信用封筒1通(長3、のり付き、242円切手、宛名)	<input type="checkbox"/>
4	インターネット出願者	利用者ID、整理番号、パスワードをメモする。	<input type="checkbox"/>
	利用者ID	整理番号	パスワード
5	一般選考受験者のうち、昭和41年4月2日以降、昭和52年4月1日までに生まれ、平成28年3月31日現在において過去に3年以上国立又は県外公立、私立学校で教諭経験を有する者のみ 教職経験特別選考受験者のうち、現に国立又は県外公立、私立学校で教諭経験を有する者のみ	在職証明書(在職期間が明記されているもの、様式自由)を、郵送による出願者は同封、インターネット出願者は書留郵便で郵送	<input type="checkbox"/>
6	社会人特別選考受験者のみ	2000字以内の自己推薦文を、郵送による出願者は同封、インターネット出願者は書留郵便で郵送	<input type="checkbox"/>

● 6月10日 〈C票・D票送信時〉

1	インターネット出願者	【写真票(D票)】プリントアウトし写真貼付のうえ、6月24日(金)までに書留郵便で郵送	<input type="checkbox"/>
---	------------	---	--------------------------

● 7月9日 〈第1次試験時〉

1	全受験者	【受験票(C票)】写真貼付持参	<input type="checkbox"/>
2	全受験者	結果通知用封筒1通(長3、のり付き、92円切手、宛名)持参	<input type="checkbox"/>
3	加点申請者のみ	申請書類のコピー(取得見込みの免許状除く)持参	<input type="checkbox"/>

<問い合わせ先>

奈良県教育委員会事務局教職員課人事企画係

TEL 0742-27-9844(直通)

教員採用候補者選考試験願書

A票

受験番号	※	選考種別 ※ 併願可能については受験案内P2~P4で確認のうえ、希望全てに○をつけてください。	1 一般選考 2 教職経験特別選考 3 身体に障害がある人を対象とした選考 4 社会人を対象とした特別選考 5 小学校英語教育推進特別選考 6 中学校・高等学校英語教育推進特別選考 7 大学院・教職大学院特別選考
受験する校種等、教科等	校種等	教科等	高校国語・商業のみ ※ 県立・大和高田市立に希望順位(1, 2)を記入してください 県立学校 大和高田市立学校
フリガナ		性別	生年月日 年齢
氏名			年 月 日 歳
最終学校	大学 大学院	学部	科 卒業・卒業見込 課程 修了・修了見込
職業	現住所	〒 — — — — — 電話 — — — — —	
1 学生 2 講師 3 教諭 4 その他 ()	受験者への連絡先	〒 — — — — — 電話 — — — — — 携帯電話 — — — — —	
※ 該当する番号に○をつけ、4その他の場合のみ()に詳細を記入してください。	教員免許状	種類	教科等
		(例) 中1種	数 学
資格	司 書 教 諭		

【 加 点 申 請 】

※ 加点を申請する場合は、下の加点項目①~⑥に該当する申請欄に○を記入し、①~④で免許状を取得済みの場合は○印を、取得見込みの場合は△を()に記入し、必要事項を〔 〕に記入してください。なお、⑤、⑥においては出願時に取得済みのみとします。

申請欄	対象者	加 点 項 目	取得○ 見込△
①a	小英特別	小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状〔教名 英語〕	< >
①b	小学校・小英特別	小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状〔教名 〕	< >
②	中学校	小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状〔教名 〕 中学校教諭普通免許状〔教名 〕〔教名 〕	< >
③	中学校	司書教諭の資格	< >
④	高等学校	高等学校教諭普通免許状〔教名 情報〕〔教名 〕	< >
⑤a	小英特別	英検準1級以上、TOEFL PBT550点以上、CBT213点以上、 iBT80点以上、TOEIC730点以上	〔 資格 〕
⑤b	小学校 中英・高英		
⑥	全校種	臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士いずれかの資格	< >

氏名	
----	--

B票

1 履歴事項 ※必ず高等学校入学からの履歴を記入してください。

自年月日	至年月日	学歴・職歴(職名)・賞罰
H22・4・1	H25・3・31	〈例〉〇〇県立△△高等学校
・	・	(学歴)
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	(職歴)
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	
・	・	(賞罰)
・	・	
・	・	(現任校)
通信教育等 での免許取得	・	大学

2 教職経験 | | | 月

教諭経験月数

※ 奈良県公立学校栄養職員
(任期の定めのない人)を含む

奈良県内常勤

講師経験月数

及び
職員番号

※ 奈良県公立学校臨時栄養職員及び臨時実習助手、臨時
寄宿舎指導員を含む

3 身体障害者手帳

身体障害者手帳	交付機関		交付年月日	年 月 日
	交付番号		障害名 及び	級
受験上の 配慮事項				

平成29年度奈良県・大和高田市公立学校

C票

教員採用候補者選考試験 受 験 票

受験番号		氏名	刀册		写真貼付欄 ・3か月以内に撮影した もので脱帽正面向き (下記に撮影年月記入) 縦4.5cm 横3.5cm 年 月 撮影	
※			-----			
校種等	教科等	名	年 月 日生			性別
			(歳) ()			
注意事項						
※ 年齢は平成29年4月1日現在で記入してください。 ※ 試験会場及び持参する物は教職員課HPで確認してください。 【持参する物】受験票、結果通知用封筒1通(切手貼付)、 加点申請をした人は、申請に必要な書類のコピー、 筆記用具(鉛筆、駄ボールペン)、消しゴム、上履き、靴入れ						

平成29年度奈良県・大和高田市公立学校

D票

教員採用候補者選考試験 写 真 票

受験番号		氏名	刀册		写真貼付欄 ・3か月以内に撮影した もので脱帽正面向き (下記に撮影年月記入) 縦4.5cm 横3.5cm 年 月 撮影	
※			-----			
校種等	教科等	名	年 月 日生			性別
			(歳) ()			
※ 年齢は平成29年4月1日現在で記入してください。 さい。						
※						

奈良県教育委員会

平成29年度奈良県公立学校

教員募集のご案内



去る4月1日、平成28年度新規採用の先生方を私たちの新しい仲間として迎えました。今を盛りに咲き誇る桜に見守られ、各校種の代表の方に、「頑張ってください。奈良県の子どもたちを頼みます。」と声をかけながら、辞令を交付しました。

みなさんも、学校で多くの先生に出会ったことと思います。

うれしいとき共に喜んでくださった先生、辛いとき優しく寄り添ってくださった先生、ためらっているときそっと背を押してくださった先生、時に厳しく指導してくださった先生……。そのときは分からなくても、振り返ると自分の人生に生きていく教えもあります。間違いなく私たちの一部分は、先生方の教えでできていると思います。

あなたにとって、「理想の先生」とはどのような先生ですか。

私は、子どものことを一番に思う先生が「理想の先生」だと思っています。それは教員としての姿勢であるため、表れ方は一様ではなく、様々な「理想の先生」がいてよいと思います。しかし、子どものことを思うには必要なものがあります。私は、奈良県の先生に次の3つを備えていただきたいと思います。

○「専門的力量」 知識、専門性において優れ、その道において卓越していること。

○「人間的な魅力・人間性」 コミュニケーション能力があり、人として魅力的であること。

○「学び続ける意欲」 子どもの意欲を高めるため、教員としての力量を高める向上心を持ち続けること。

学校は誰のためにあるのかと問われると、それは「子どものため」と誰もが答えるでしょう。では、学校は何のためにあるのかと問われれば、私は、学校は「不可能を可能にするため」にあると答えます。昨日できなかったことが今日できるようになる。今日上手にできなかったことが、明日少し上手にできるようになる。学校は学びの場であり、伸びる場であり、いくつもの「感動」がちりばめられている、そういう場所であってほしいと思います。子どもの成長を願いつつ、自らを磨き続けることで培った深い専門性と豊かな人間性で、子どもたちと正面から向き合うこと、そしてその成長に立ち会えることが私たちの「喜び」であり、「生きがい」です。

教員には定年がありますが、「先生」を引退することはできません。「先生」は、いつまでも教え子にとって「先生」であり続けるのです。教え子がいくつになっても「先生」として、その言葉が、その存在が教え子たちの心の支えとなる、奈良県はそんな「先生」を求めています。

奈良県の教員を目指すみなさん！

教育は未来をつくる営みです。私たちの仲間になって、一緒に奈良県の子どものために頑張りましょう。

奈良県教育委員会教育長 吉田 育弘



奈良県学校教育の指導方針

学校教育の目標

日本国憲法、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人権を尊重する民主的な社会の形成者として、豊かな人間性と創造性をそなえた国民の育成を目指す。

具体目標

- 基礎的な知識・技能を習得させ、学んだことを活用する力を育成するとともに、主体的に学ぶ態度を養う。
- 真理を求め、生命を尊び、自然を愛し、崇高なものに感動する心を育てる。
- 正しい判断力と強い意志を養い、規範意識を高め、自律的な生活態度を育てる。
- 勤労観・職業観を養い、主体的に進路を選択する能力を育てる。
- 自他敬愛に基づく人間関係を深め、社会連帯の精神と社会に貢献する態度を養う。
- 郷土や自国に対する理解と愛情を培い、国際理解を深めることを通して、互いに尊重し合う態度を育てる。
- 健康的な生活習慣を養うとともに、自発的・自主的な体育的活動をすすめ、たくましい心身を育てる。

○使命感や情熱にあふれ、愛情をもって児童・生徒との信頼関係が築ける人

○豊かな人間性をもち、深い専門知識に裏付けられた実践的な指導ができる人

○奈良の伝統、文化を理解し、地域と社会的絆の中で子どもを育てられる人

奈良県はこんな先生を求めています。

子どもものごとを一番に思う日々

子どもが『楽しい』と思えるように

4月、クラスの子どもたちは積極的に自分の意見が言えず、私は不安でした。そのうえ、私自身余裕がなく、どこか自信のない顔をして子どもたちの前に立っていました。そんなとき、私の不安が子どもたちに伝わるのか、子どもたちから楽しく学ぶ雰囲気を感じられなくなりました。少しずつ私に余裕が出てくると、子どもたちも楽しそうな表情を見せてくれるようになりました。

それからは子どもたちが楽しく感じるためには、どのようにすればいいのかを常に考えるようになりました。教材研究では、子どもたちが楽しく学ぶ方法を探しています。試行錯誤の毎日で、失敗する時もありますが、そんな時は先輩の教員の方にアドバイスをいただいています。子どもたちに、たくさんの楽しさを実感させられるような教員を目指します。

平成27年度採用 奈良市立飛鳥小学校 教諭 平野 健太

共に学び、共に笑う関係

4月から2年生の担任をしています。最初は分からないことばかりで不安な毎日でしたが、先輩教員の方々からアドバイスを頂き、そして子どもたちと共に考え、共に学びながら成長してきたと思います。学校行事や生活の中で子どもたちと一緒に何かを乗り越えることができたとき、そしてそのときの子どもたちの笑顔をみることができたとき、教員としての幸せを感じます。子どもたちと過ごす学校生活は、自分が想像していなかったようなことがたくさん起こりますが、本当に充実した時間をもつことができていると思います。これからも、学級目標である「Let's Enjoy」を忘れず、みんなが笑顔で過ごすことができるように、子どもたちと共に切磋琢磨し続けたいと思います。

平成27年度採用 天理市立北中学校 教諭 和田 祐樹

子どもの「できた!」を目指して

初めて教壇に立ったときの不安と緊張は今でもはっきりと覚えています。同時に、私を見る子どもたちのキラキラした表情も忘れられません。授業は毎日試行錯誤の連続です。子どもたち一人一人は個性豊かで、その個に応じた適切な声かけや指導ができていたかどうかを振り返ることを大事にしています。その中でも、子どもたちの「できた!」という表情を見られた時が何より嬉しいです。どの子どもも生き生きと目を輝かせ、「分かった」「できた」と実感できる授業づくりや、一人一人が安心して過ごせる集団づくりを目指して日々取り組んでいます。この気持ちを忘れずに子ども思いに寄り添える教員であり続けたいと考えています。

平成27年度採用 橿原市立耳成南小学校 教諭 渡邊 友恵

生徒と共に成長する喜び

私はこの1年間、生徒との関わりや研修などを通じ、去年の私より成長できたと感じています。ある授業で的一幕、教室が少し騒がしくなりました。「どういうこと?分からへん。」生徒からのSOSでした。そのSOSを受け、先輩の教員の方に相談しつつ、発問の仕方や指導法、指導内容について、授業時間の何倍もの時間をかけて研究し授業を繰り返してきました。そして授業で、「先生、分かった!」と喜ぶ生徒の笑顔を見たとき、私も生徒も成長する喜びを共に得ることができたと感じました。この喜びは教員という仕事だからこそ得られるものであり、教員として生活する生きがいだと思っています。これからもその喜びを生徒と共に得ていけるよう学び続けます。

平成27年度採用 奈良県立香芝高等学校 教諭 川下 優一

生徒と向き合い、自分と向き合う

生徒とまっすぐに向き合い、どんな時も生徒を受け止められる教員になりたい。その思いを胸に、高等養護学校で働き始めました。1年が過ぎた今、生徒と向き合うことは、自分と向き合うことであると感じています。働く中で、壁にぶつかり悩む日もありますが、自分の力の無さを痛感し、落ち込む日もありません。そんな時、元気をくれるのは、いつも生徒たちです。やさしい心とキラリと輝く個性をもつ生徒たちに、社会の一員として生き生きと働いてほしい。自分と向き合い、力強く生きてほしい。そのために、私には今何ができるのかを考え、試行錯誤を重ねています。生徒からももらった元気を、確実に返せるよう、生徒と共に日々成長していきたいです。

平成27年度採用 奈良県立高等養護学校 教諭 西川 久美子

毎日の「ごちそうさま

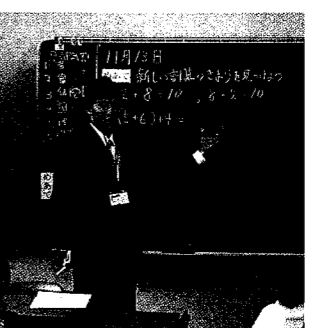
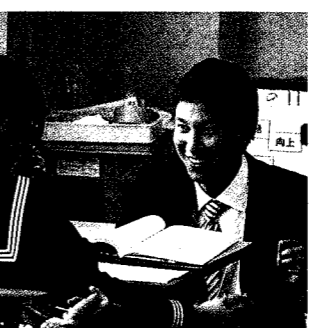
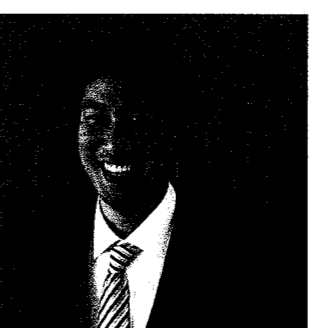
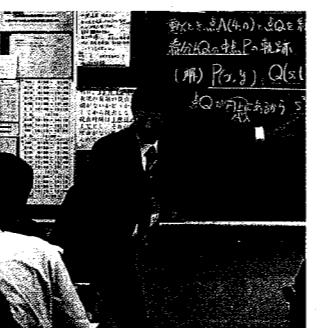
「ごちそうさまでした!」と、大きな声で子どもたちは食器を返却しにきます。子どもたちは毎日の給食にダイレクトに反応を返してくれます。試行錯誤した新メニューを実施した日、「先生、またこのメニュー出して!」と言われたときはとても嬉しかったです。給食は、子どもの体を作るもので、その子の命の元になるものです。栄養教諭は、たくさんの子どもの命を預かっているという責任を感じながら、子どもたちにおいしいという喜びを提供する仕事です。食を通して、日々子どもと関わることでできるこの仕事に、とてもやりがいを感じています。食育を進め、それが子どもたちの学習や体力の向上につながるよう、これからも努力していきたいと思っています。

平成27年度採用 下北山村立下北山中学校 栄養教諭 岸本 圭乃子

心を一つに 最後は笑顔で

文化祭で、動画の上映とダンスをクラスで発表することになったときのことです。文化祭準備の時間は2週間しかなく、子どもたちはよりよいものを作りあげるために一生懸命でした。何度も挑戦や練習を重ね、アイデアを出し合い、最後まで粘り続けていました。文化祭当日、動画とダンスはうまく一つになりました。思ったようにいかないこともあったようですが、終わった後の子どもたちの表情は、笑顔で達成感にあふれていました。その顔を見て、クラスの気持が一つになり本当に良かったと思いました。諦めずに挑戦することは教員自身もずっと忘れてはいけない大切なことです。できないと決めつけず、何事にも挑戦していける教員でいたいです。

平成27年度採用 生駒市立生駒中学校 教諭 松田 渚



新任者のための研修へ教育研究所

新任者は、教育公務員特例法に基づき、採用の日から1年間、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得るため、学級や教科・科目を担当しながらの実践的研修（新任者研修）を行うこととされています。

県教育委員会では、教科等指導や学級経営、生徒指導、人権教育等、さまざまな内容の研修をグループワーク等主体的に学ぶことができる方法により実施し、教員の資質・能力の向上を支援しています。

平成27年度の受講者からは、「日々の仕事の中で初心を忘れそうになりながらも、新任者研修に来る度に、講師の先生からは具体的な指導方法を、同期の仲間からは熱い心を学ぶことができ、また学校で子どもたちと頑張りたいと思うことができました。」「この1年、初めて教員となって頑張ってきましたが、たくさんの失敗や苦しみ、悩みを抱えました。そんな状況の中でこの新任者研修は、同じ立場の先生と共感でき『自分だけではないんだ』という安心感と『共に頑張ろう』というポジティブな気持ちにさせてくれました。」「教員として必要な知識・行動・考え方について学ぶことができました。今後とも日々の教育活動の中で学んだことを生かしていきたいです。」などの感想を聞くことができました。

■奈良県先生応援サイトの開設について

先生方の日々の教育活動を支援するため、優れた取組例や課題の解決方法等、教育活動に役立つ情報を共有し活用するためのウェブサイトを開設しています。

サイトは、「教育に関する資料・データ」「役立つリンク」「教育に関するQ&A」「ログインコンテンツ」の4つのカテゴリで構成されています。



■新任者の給与（新卒の場合）

小中学校

区分	大学院卒	大学卒	短大卒
給与月額（含教育調整額）	235,872円	212,888円	189,592円
義務教育等教員特別手当	3,000円	2,600円	2,300円

県立学校

区分	大学院卒	大学卒	短大卒
給与月額（含教育調整額）	235,872円	212,888円	186,784円
義務教育等教員特別手当	3,000円	2,600円	2,200円

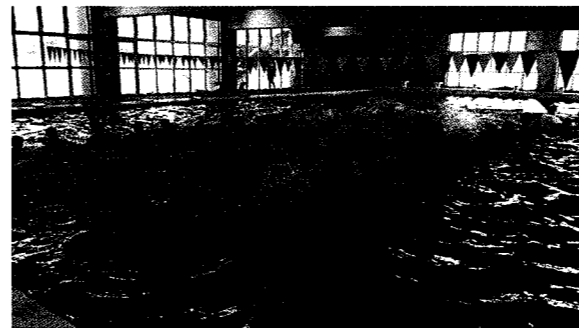
■平成28年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験の結果

	出願者数 A		受験者数 B		第1次合格者数 C		第2次合否対象者数 D		第2次合格者数 E		採用予定者数 F		受験倍率 (B/E) G	
	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28
小学校	931	937	831	836	470	424	424	377	200	185	200	185	4.2	4.5
中学校	931	931	789	819	301	266	288	254	125	100	125	100	6.3	8.2
高等学校	594	638	498	548	178	184	171	178	54	53	54	53	9.2	10.3
特別支援学校	146	162	130	148	74	68	73	67	38	37	38	37	3.4	4.0
養護教諭	156	151	134	128	38	39	34	37	16	16	16	16	8.4	8.0
栄養教諭	59	66	49	51	20	20	15	20	6	6	6	6	8.2	8.5
実習助手	29	28	24	23	11	10	11	10	3	2	3	2	8.0	11.5
合計	2846	2913	2455	2553	1092	1011	1016	943	442	399	442	399	5.6	6.4

※採用予定者数には、平成27年度は高等学校に1人、平成28年度は養護教諭に1人の大和高田市採用を含んでいる。



教科等指導の工夫と授業展開に関する研修



子どもの体力を向上させる水泳学習の指導についての研修（小学校）



グループ別発表交流



教員採用候補者選考試験のご案内

平成29年度の奈良県公立学校教員採用候補者選考試験及び任用については、下記の要領で実施する予定です。

なお、詳細は5月中旬に交付予定の「平成29年度奈良県公立学校教員候補者選考試験実施要項」を参照してください。

出願から任用までのスケジュール（予定）

願書受付	平成28年5月中下旬
第1次試験	7月中下旬
第1次試験結果通知	8月上旬
第2次試験	8月中下旬
第2次試験結果通知	9月下旬
赴任校内定	平成29年3月下旬
任用	4月1日

講師募集のご案内

平成28年度及び平成29年度の奈良県公立学校講師も同時募集しています。詳細は教職員課まで、お問い合わせください。

奈良県教育委員会事務局教職員課

〒630-8502 奈良県登大路町30番地

TEL 0742-27-9844 FAX 0742-24-7256

HP <http://www.pref.nara.jp/1695.htm>